

### ③ ユーラシア大陸 1

|    |            |                                                                                     |                                                                                                    |        |
|----|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 1  | 中国の工場      |    | CO2排出と大気汚染は06年世界第一位になった。経済優先だけを進める中国は周辺国にまでも大気汚染をもたらし、土壌汚染は国土の約40%を占めるという。                         | 中国     |
| 2  | 黄河の水       |    | 中国第二の大河・黄河は一年間のうち約260日も東シナ海に流出しない。水は先ず工業用水に使用され、次に農業に使用される。汚染は大気だけでなく土壌にも及ぶ。                       |        |
| 3  | チベットのエネルギー |    | 標高3400メートルのチベットのエネルギーは簡単なソーラーシステム。円盤状のレンズ2枚と焦点にあたる支柱にヤカンを置き水を沸かす。                                  |        |
| 4  | チベットの燃料は   |    | 標高約3600メートルにあるチベットでは樹木は生ず、円盤状の鉄板を鏡のようにして反射させ、焦点に熱を集めて燃料にする。                                        |        |
| 5  | ガソリンスタンド   |   | カンボジアでは、毎朝托鉢する坊さんに供物をする。坊さんの後方に見えるポリタンクがガソリンスタンドである。人々の多くはバイクで、一台に家族3名ぐらいが乗っている。                   | インドネシア |
| 6  | 物乞いする三人兄弟  |  | インド・ジャイプール近郊で物乞いをする兄弟がいた。暗くなった駅構内まで後をつけて来た。インドの貧困と富裕の格差は大きい。                                       | インド    |
| 7  | 枯れてしまった井戸  |  | インド北部を移動中に見た井戸だ。よく見ると井戸周辺にはゴミがあり使用されていない様子だ。多分海外協力隊が建設に関わったものようだが多量に活用したために地下の水脈も枯れてしまったようだ。       |        |
| 8  | 世界遺産が汚染    |  | ダーージ・マハル(インド)の外壁と街頭だ。ダーージ・マハルは白い大理石に像嵌細工をしたドーム状の廟だが、観光バスの排気ガス増加によって汚染されて来た。バスの駐車場は移動したが、汚染は解決されない。 |        |
| 9  | 牛の糞が燃料に    |  | インドの家の壁に「バン状」の物を乾燥させている。燃料にする「牛糞」である。牛糞を水と混ぜ、メタンガス状にしている家もある。王様の乗り物が「象」であった時代は「象の糞」も住民の貴重な燃料であった。  |        |
| 10 | 店頭の商品は     |  | はかり売りと古新聞が包装の露店が並んでいるインドの店頭である。環境にやさしい暮らしぶりがみえる。                                                   |        |

### ③ ユーラシア大陸2

|    |                |                                                                                     |                                                                                                |         |
|----|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 11 | 世界遺産の側にゴミ捨て場   |    | 壁一つ隔てた場所にゴミ捨てられている。子どもたちはこの中から使用できそうなボトルを幾つも取り出して袋に詰めて家に持ち帰り生活資金にする。(ウズベキスタン)                  | ウズベキスタン |
| 12 | リサイクルした水筒      |    | ゴミの中からペットボトルを水筒に再生する子どもたちは環境を考えての活動ではない。生活資金にするためである。ふたのない水筒も売っている。                            |         |
| 13 | 水を運ぶ女性         |    | 開発途上国では家庭に水を設備するのは容易でない。先進国と途上国の大きな違いは安全で衛生的な水が身近にあるか否かです。                                     |         |
| 14 | 遊牧する羊たち(シリア砂漠) |    | 砂漠同然のこの地でも羊の遊牧がされている。羊は草の根までもむしり取る性質があるので、砂漠化は一層進んで行く。                                         | ヨルダン    |
| 15 | 難民キャンプ         |   | シリア南部の高原地帯に白色の幕舎が点在している。パレスチナ難民キャンプには四代にわたって暮らしている。                                            |         |
| 16 | 汚染されるアムール川     |  | ロシアと中国の境はアムール川(黒竜江)。中国の工業廃水で川は汚染されオホーツク海に出る。木材は日本に輸出。                                          | ロシア     |
| 17 | 汚染するバイカル湖      |  | 湖はシベリアのガラパゴス島と言われるほどの固有生物が多数生息している。湖の広さは九州よりやや小さな面積で、その透明度は世界一で世界の全淡水量の5分の1を有しているが生活廃水で汚染してきた。 |         |
| 18 | モン・サン・ミッシェルから  |  | 孤島の僧院からの眺望。巡礼者は潮が引き干潟になるのを待って渡ったという。現在、道路があるが、干潟周辺の生態系が破壊されつつある。                               | フランス    |
| 19 | アルプスの雪         |  | スイス・アルプスのモンブランの中腹で登山する人と周辺の山々を写した。年々積雪量が少なくなり、スキーヤーもゲレンデ探しに苦労している。五輪のスキー選手たちの練習場確保も容易でない。      | スイス     |
| 20 | ガソリン車乗り入れ(スイス) |  | 交通機関は馬車と電気自動車のみである。建物の窓辺にはゼラニウムが置かれ、花の独特の匂いは虫よけの役目をしている。                                       |         |
| 21 | 環境に優しい交通機関     |  | 電車の中に自転車専用の車両が連結されて走っている。客は目的地に着くとサイクリングで楽しむ。日本でもこの方法をもっと考えてはどうだろうか。                           |         |

### ③ ユーラシア大陸3

|    |            |                                                                                     |                                                                                                 |       |
|----|------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 22 | 自転車が電車の中に  |    | 欧州の公共交通機関は便利だ。自転車だけでなく乳母車も乳幼児を乗せたまま持ち込まれる。乗客も気軽に乗り降りの手伝いをする。                                    |       |
| 23 | 汚染された彫刻    |    | サンスーシー宮殿の外壁には見事な大理石の像があるが、大気汚染によって汚れ修復は不可能だという。                                                 |       |
| 24 | 便利な電車      |    | 北部ドイツ・リューベックは世界遺産に指定され、自家用車は進入禁止で低床の電車が貴重な交通機関だ。低床で幅広い出入り口は社会的弱者にとって大変便利だ。電車は歩行者にとっても安全で環境に優しい。 |       |
| 25 | ドイツ北部の石畳の街 |    | 一つ一つ石を組み合わせた石畳と木組みの梁や窓枠の家並みは、今後も保存したい景観である。                                                     | ドイツ   |
| 26 | 環境に優しい買い物  |   | ドイツに20年も在住する女性が「レジ袋」は様にならないと言った。先進国では買い物袋持参と過剰包装なしは当たり前のこと。                                     |       |
| 27 | カラフルなゴミ回収箱 |  | 一般にヨーロッパの回収箱は大きくカラフルで遠方からでもよく目立って見える。ゴミで満杯になると空き箱と交換してそのまま回収していく。                               |       |
| 28 | 徹底している分別   |  | ドイツ・ベルリンの街頭の片隅にあった分別ボックスは緑色・茶色・透明の三色に分別してガラス瓶を回収している。瓶は洗浄して再びワインや飲料が入る。徹底した分別は各都市で行っている。        |       |
| 29 | 見直されてきた原発  |  | ドイツ・ハンブルグの近くにバルト海に面した原子力発電所が見えた。ドイツは一時期持続可能なエネルギーとして風力発電と太陽光として原発の建設を控えていたが、現在は再び建設計画が復活してきた。   |       |
| 30 | 巡回する警察官    |  | ポルトガル・リスボンの市街を巡回する警察官は二台の「セグウェイ」(電動式の移動器具)に乗って賑やかな街中を巡回している。小型であるため小回りがよく、省エネである。               | ポルトガル |
| 31 | 断熱された屋根    |  | ノルウェーの田舎の家の屋根は木造屋根の上は芝生だ。家の暖房熱が家外に逃げるのは窓からが多いが、屋根裏からも逃げている。この地ではこのような断熱で外への放熱を防止している。           | ノルウェー |